

令和2年度 (一社)北九州市PTA協議会

第11回役員会議 報告

- 令和3年3月5日(金) 会長・副会長会議 18:00～ 役員会議 19:00～
- 北九州市立生涯学習総合センター3階 大ホール
- 出席者(敬称略)小森・吉井・加藤(大)・有江・大庭・日野・三浦・森谷・田中・田頭・井上・長野・坂本(浩)・奥村・今林・船越・西田・藤井・野田・古森・池田・鬼ヶ原・田場・松岡・原田

事務局…溝部・今永・村山

- 議 事
議事録署名人と「子どもを育てる10か条」の唱和者の指名
 - ☆ 議事録署名人 松岡 原田
 - ☆ 「子どもを育てる10か条」の唱和 松岡

≪役員会来訪者説明≫

1. 会長あいさつ

本日、日本PTA全国研究大会開催に向けて、北九州市議会議長と福岡県議会議長にごあいさつに伺いました。着々と準備が進んでいますが、まだ課題も残っています。

年度末になりました。一年間本当にお疲れ様でした。また来年度もよろしくお願ひします。

2. 審議事項

① 令和3年度予算案について

<三浦>

令和3年度の予算案を配布している。この予算案は、6月総会で最終審議を行うため、あくまでも現時点での予算案を審議する、ということで目を通してもらいたい。

(※下記について説明)

- ・事業費に「広報委員会」と記載がある…まだ総会で承認を得ていないが、現在活動中の広報部会を“広報委員会”に改め、委員会活動の一つとして取り扱うことを目指しているため。
- ・予備費が大幅に増えている…令和2年度の会費をコロナ禍対応により定額から50円減免し、150円と定めていたが、令和3年度より200円に戻したため。
- ・総務委員会の予算が10万円減になっている…P協のHP管理費を総務委員会の予算ではなくPTA協議会の需用費に移したため。
- ・人件費が50万円減額になっている。

<門司区中P連>

指導者研修会・家庭教育講演会の事業費予算が0円になっているが、今年度は延期ではなく年間を通して開催しない予定なのか。

<三浦>

同時期に日P大会が開催されるため、今年度は行わないことになっている。

<加藤(大)>

収入欄の「補助金」の科目を見ると、北九州市からの補助金が30万円も減っているが、こういった理由があるのだろうか。

<事務局長>

例年、家庭教育講演会は北九州市からの委託事業の為、市から補助金をいただいている。しかし、令和3年度は家庭教育講演会を開催できない。そのため補助金の総額が減っている。

② 令和3年度行事計画について

<三浦>

令和3年度の年間行事計画について、目を通してほしい。

3 協議事項

① 令和3年度 広報紙コンクールと広報委員研修会（実施・延期・中止等）について

<三浦>

下記の通りで決定。

広報紙コンクール…例年通り募集を受付、コンクールは実施。

広報委員研修会…コロナ禍のため開催延期、場合によっては中止。

4 連絡・報告事項

① 役員より

○ 令和3年度の役員候補の推薦の御礼について

<会長>

役員推薦について、ご協力いただき有難うございました。

○ いじめ標語コンテストの結果について

<事務局長>

小学生の部 665作品 中学生の部（特支を含む） 666作品の応募があった。

*受賞者名、作品の発表は本人に掲載許可を得た上で次年度のP協新聞で紹介予定。

○ 三行詩の結果について

小学校の部 8点 中学生の部（特支を含む） 138点 一般の部 7点の応募があった。残念ながら、日本PTA全国協議会での選考において、受賞作品はなかった。

*北九州市代表作品の発表は本人に掲載許可を得た上で次年度のP協新聞で紹介予定。

○ 日本PTA全国大会の進捗状況について

<森谷>

シンボルマークの選考が終了した。

（※選ばれた児童生徒の氏名は発表形式を検討した上で報告を行う。）

② 連合会より

<小倉南区小P連>

2月25日（木）にリモート会長会議を行った。P協の連合会活動費について、納得いかないという意見が多かった。P協の会費値上げに関しても、還付金があるから承認したのである。「日Pの大会があるから還付金を渡せない」と言うが、昔の研究大会では基金から出していた記録がある。今年度はどうなっているのか？連合会内で様々な意見が積み積もっている。他県では「会費が高いため協議会をやめる」という事例も出ている。

また、連合会活動費を還元せずに、市P協の方で管理する方向性で考えているとおっしゃっていたが、市Pで勝手に管理されることに納得がいかない。市P協は本当に単位PTAのためになっているのか？子どものためにPTAをやっているのに、日P関係の活動ばかりで活動の内容が見えてこない。このような意見が連合会内で多く挙がっている。

<加藤（大）>

以前、門司区小P連からも同様の意見をいただいていたが、納得して貰えているのか、と不安に思う。納得することができれば断固反対、というスタンスは誰もとらないはずだ。小森会長が直接出向く、というのはこのコロナ禍ではなかなか難しいと思うが、皆さんが納得できるような説明が必要だと感じている。

<三浦>

皆さんには心配、不信感も含めいろいろな思いがある。しかし、日P大会に向けて全力で頑張っていることを理解してもらいたい。連合会活動補助金が各区によって使い方がまちまちのため、P協で管理して使い方を指定する、という意図はない。現状、単Pに分配している区もあれば連合会にプールしている区もあり、本当に「活動補助金」として運用されているのか疑問を持っている。連合会活動補助金の運用方法に迷っているという話も聞いている。この現状を踏まえ、「子ども達のことを考えた有意義な使い方はどのようなものか」「総合保障制度に加入していなくても還付金が得られる不公平感」の二点に着目して再検討しなければ

ばいけない、と感じている。乱暴に「このお金は返しません、基金で管理します」と捉えられては誤解を招くので避けたいが、この連合会活動補助金（総合保障制度の事務手数料）の望ましい使い方について議論していきたい。

<門司区中P連>

保険加入者ありきの還付金なので、今後加入人数の減少が予想される以上、補助金をあてにして連合会の活動内容の検討を行わない方が望ましいと思う。門司区中P連では、当該年度に入ってきた連合会活動補助金を来年度の事業費として組み込んでいる。

令和元年度まで、単位PTA活動活性化推進事業が行われていたと思う。この事業は連合会単位でも利用できるのではないかと。P協の役員の方に内容検討・情報発信を行っていただきたい。連合会の会長は毎年変わるし、PTA会長もどんどん大変わりにしていく。連合会活動費のこれまでの経緯や、市P協の会費値上げについて説明が必要だと思う。私の記憶では、総合保障制度の還付金で事務局員の人件費を賄っていた現状を変え、協議会の運営を会費で成り立つようにするための値上げだ、と前P協会長から1~2年かけて説明を受けたと記憶している。当時説明を受けた会長が卒業するなどして、申し送りがうまくいかなかったのではないと思う。

金額が不明瞭で入ってくるかどうか分からない補助金を予算に組み込むのは難しいと個人的には考えているが、不満が出るのは尤もだと思う。今年はコロナ禍で会議ができないことも多く、情報交換や説明の機会も少なかった。基金等も視野に入れながら、波風が立たない方法を探して行ってほしい。

<小倉南区小P連>

還付金をあてにしているわけではない。しかし、小規模校は会費がとても負担になっている。会費の値上げが行われている以上、少しでも還付金が欲しいという現実がある。「事務運営費が必要だから値上げを行う」という話自体に異論はないが、「毎年還付金をお渡しするので、会費の値上げを承諾してほしい」と言っておいてこの状況になっていることに疑問がある。

<三浦>

説明不足が大きな原因だと思う。私も小規模校なので会費の負担を感じていて、行事を縮小せざるを得ないこともいずれあるかもしれないと感じる。そういった小規模校へ救いの手を差し伸べる、特別な措置をとるなどの方策が必要なのかもしれないと話を聞きながら考えた。

<小倉南区小P連>

P協の会費値上げにともない、単位PTAでPTA会費を値上げできるかというほとんどの学校が値上げできない状況にある。単PのPTA会費を値上げできないのにP協の会費は2倍徴収されて苦しい、という気持ちが募り募って今のこの状態になってしまったのではないと思う。

<三浦>

PTA協議会としては子どもたちのための活動も当然ながら、親の学びの場を用意することも必要と考えており、そのために日P大会は必要であると感じる。PTAが決して大変なだけではないというのでも伝えていきたいと感じる。

<松岡>

日P大会のためにお金が必要、と言いつつも、この役員会議で日P大会の予算書を提出したことがない。現時点での大まかな状況でもよいから、提示したほうが良いのではないかと。

<三浦>

日P大会を開催するにあたり、予算がひっ迫しており予算が集まらない。様々な不満を解消できるよう、情報開示をしていきたい。

<会長>

日P大会を通じて、PTA皆でワクワク、ドキドキしたいと思っている。子どもたちのために皆で手を取り合ってやっていきたい。家庭教育の大切さを学び、共有し、子どもたちと一緒に育つことができれば楽しいと思う。PTA協議会の会長として「この還付金を日P大会のために使わせていただけないでしょうか」と単にお願いしているだけの話である。単位PTAや連合会の現状を話すのではなく、もっと建設的なご意見をいただきたい。

<三浦>

特別な人だけが参加する大会というわけではない。北九州で開催する素晴らしい大会を作ろうとしている。ぜひ参加するところでも協力してもらいたい。皆さんがあっと驚くような大会を作ろうとしている。

③ 校長会より

<小学校校長会>

卒業式に向けてどの学校も動き出している。緊急事態宣言が解除されても、学校は解除前と同じ基準で感染対策に取り組んでいる。特に卒業式の前日、当日に学校が休校になることを避けなければならない。学校としては緊張を保っている。

学校に学校業務補助員や学習指導補助員の雇用が本年3月で終了するが、緊急雇用対策として小学校のみ3か月間入ってもらえる（学習指導補助員のみ）ことになった。

<中学校校長会>

来週よいよ天王山（卒業式）を迎える。スケジュール表を見返すとほとんどの行事が中止になっており、校長会の事務局としては市教委との折衝、子どもの登校、休校をいつから解除するのか等を判断することが非常に大変だった。毎月1回行っていた校長会が開けない代わりに徹底した情報共有を行い、結束を高めていった。それは休校が解除になった今でも続いている。今年度はあまり知見もなかったため、徹底的に安全対策として中止を選んできたが、来年度は形を変えて体育大会、文化祭などを実施していくのではないかと思う。休校中にしっかり子どもさんを見ていただいた保護者の方々のご協力なくしては今日までの現状に至ることはできなかった。おそらくもう1年、今のような日々を送るのではないかと思う。

来週、県立高校の入試と卒業式が控えている。先生方と「この1年間、よくここまで頑張ってきた。あと1週間、死に物狂いで頑張ろう」と話しながら頑張っている。3年生を応援するために私たちができることは、教職員、1年生2年生が自分の健康を守ること。限られた条件の中で楽しみを見つけながら頑張ってきた中学3年生をしっかりと見送りたい。卒業式は体育館の広さ、子どもたちの人数によって各学校で対応が異なることを理解してほしい。

3月18日（木）に県立高校の合格発表がある。従来は中学校の先生は全部の高校に合格者名簿を受け取りに行っていた。しかし今年度からWEB発表に移行された。コロナ禍をきっかけに改善されたこともあったのではないかと思う。

④ 常置委員会の活動報告

<研修委員会>

2月6日（土）到津の森公園の館長の講演を撮影した。現在編集作業を行っている。非常に良いお話だった。見てもらえればよい研修になると思う。

<教育環境委員会>

3月3日（水）北九州 City 会議（小学校の部）を行った。子どもたちの考えをオンライン会議で聴くことができた。今後の予定は下記の通り。

1. 3月17日（水）北九州 City 会議（小学生の会議の様態を中学生の参加生徒に見てもらおう）
2. 小学校の部・中学校の部で話し合った内容を PTA に見てもらい、どう感じたか WEB アンケートで回答してもらおう。これは PTA 活動の最たるものを検証すること、大人の学びの場を持つことを目的としている。
3. 子どもたちの会議結果、大人たちの意見を掛け合わせた「北九州 City 宣言」を5月に発表することを目指している。

事業構築について皆様には多大なるご協力をいただき、心より感謝している。

<母親委員会>

3月19日（金）に母親委員会を開催予定。

⑤ 事務局より

- ・ 3月、4月行事予定表
- ・ 次回 役員会議 4月5日（月） 19:00～ 3階大ホール

5 質疑応答

<田中>

学校で新型コロナウイルス感染者が出た場合の情報伝達について。保護者の中には医療従事者もいる。出勤してよいのかどうか、濃厚接触者の有無などがわからずパニックになるのではないかと。現場も大変な混乱に陥っている中、迅速な対応は難しいと思うが、外出や習い

事の可否、過ごし方についての案内をいっせいくん等でわかりやすく発信してほしい。

<西田>

日 P 実行委員として少し話がしたい。PTA 協議会と各区連合会は各単位 PTA を助けてあげる立場であるべきだと考えており、実行委員としてはそういう気持ちで所属している。日 P 研究大会を一部の人間だけが参加するのではなく、末端の方へ届くような大会にしたい。混乱している中で各単位 PTA の皆さんに協力を仰ぐ、頭を下げる機会があることは心苦しく思う。皆さんに思いを届けるつもりで頑張っていくので、ご理解いただけたら有難い。